

ことしも元気で  
それぞれに  
さまざまに  
楽しみましょう  
よろしくお願いします



ことしの初日 南東尾根から



### ～新春の森に おめでたいものを探そう

No	私の見つけた「おめでたいもの」	理由	すいせん人
1	モウソウチク(孟宗竹)	おめでたいといえば「松竹梅」	H
2	マンリョウ(万両),センリョウ(千両)	名前が縁起いい。見た目もきれい。	きみ子
3	ユズリハ(榎),ヒメユズリハ(姫榎)	お正月飾り。世代交代、譲り。	浩
4	メジロ(目白)	活発元気で可愛い。	久子
5	クチナシ(梔子)	きれい。口無し→寡黙がいい。	Og
6	アカマツ(赤松)	「松は入れとかないと・・・」	C
7	カクレミノ(隠れ蓑)	ひっそりと生きてきて、花咲く今の私。	なお
8	ウメ(梅)	今日はまだ蕾だったけれど。	純
9	ヤマコウバシ(山香ばし)	葉が落ちないから人気、と最近聞いた。	アサちゃん
10	御嶽山,伊吹山	「伊吹山の神さまはイノシシ」らしいよ。	千恵子
11	ヤツデ(八つ手)	末ひろがり	ひらの
12	コナラ(小櫓)	相生山のトップスター。	Hori

連絡先(古川)

tell/fax : 052-821-6463

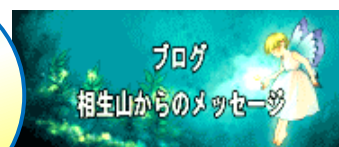
ケイタイ : 080-5124-6463

e-mail : viva\_forest@yahoo.co.jp

ホームページ : ラブリーアース → 検索

次回 2月10日(日) 9:30  
～ 森で見つけよう さきがけの春～  
今年も・・・冬芽コンテスト

相生山の最新情報は



自然とのおつきあい 考えます  
応援よろしくお願いします



新年の空に 鷹を探そう

ミサゴ,ハイタカ,オオタカ,ノスリ

今期は鳥の影が薄いそうですが…

冬の鳥: ツグミ,ジヨウビタキ,シロハラ,アオジ

いつもの: キジバト,コゲラ,モズ,カケス,  
ハシボソガラス,ハシブトガラス,ヤマガラ,  
シジュウカラ,ヒヨドリ,エナガ,メジロ,



おもいつくままに				
No	標準和名	漢字表記	科	メモ
1	アカマツ	赤松	マツ	常盤木の代表
2	モウソウチク	孟宗竹	イネ	節のラインは1重 ⇄マダケ=2重
3	マンリョウ	万両	サクラソウ	江戸期からの語呂合わせ
4	センリョウ	千両	センリョウ	同上
5	ヤブコウジ	藪柑子	サクラソウ	「十両」
6	ナンテン	南天	メギ	→難を転ず
7	ソヨゴ	冬青	モチノキ	膨ら木=フクラギ→福来木
8	アオキ	青木	ガリア	赤い果実
9	クロガネモチ	黒鉄騎	モチノキ	→金持ち
10	サカキ	榊	サカキ	「境木」=結界
11	ヒサカキ	姫榊	サカキ	お供えなど用途多し
12	スダジイ	スダ椎	ブナ	クライマックスフォレスト(極相林)
13	アラカシ	粗榧	ブナ	同上
14	クスノキ	樟	クスノキ	奇(くす)の木→薬
15	ヒイラギ	柞	モクセイ	邪退治
16	ヤツデ	八つ手	ウコギ	花盛り
17	イノデ	猪の手	オシダ	干支に因んで
18	イノコヅチ	猪小槌	ヒユ	同上
19	ヤマコウバシ	山香ばし	クスノキ	(葉が)落ちない
20	ユズリハ	楨	ユズリハ	譲り葉

相生山の「意見交換会」がもうすぐ始まります

さまざまな外的条件を一旦外してしまうなら、人びとは相生山緑地に、どんな将来像を求めるだろう？

- 1.都市計画緑地……都市の基盤施設として環境を向上させ、災害時には避難地や活動拠点となる公園緑地。(名古屋市ホームページより)
- 2.都市計画道路「弥富-相生山線」……2014年末、河村市長によって計画廃止の判断が示され、それにむけての作業は進んでいるが、計画自体は未だ生きている。
- 3.相生山緑地基本計画「素案」……上の市長判断時、「道路計画廃止」と引き換えに「道路建設済み部分は生かして」「世界からAIOIYAMAと呼ばれるような名古屋の新しい名所となるような公園」が提唱され、行政内で検討されてきた構想。昨12月16日に初めて市民に説明された。

道路は必要ない、「自然を大事に」が優先する、と判断された。では、どんな自然を、どのように大事にしていくのか。

大勢の人びとが集まって来る公園が果たして本当に必要なのか？求められているのか？

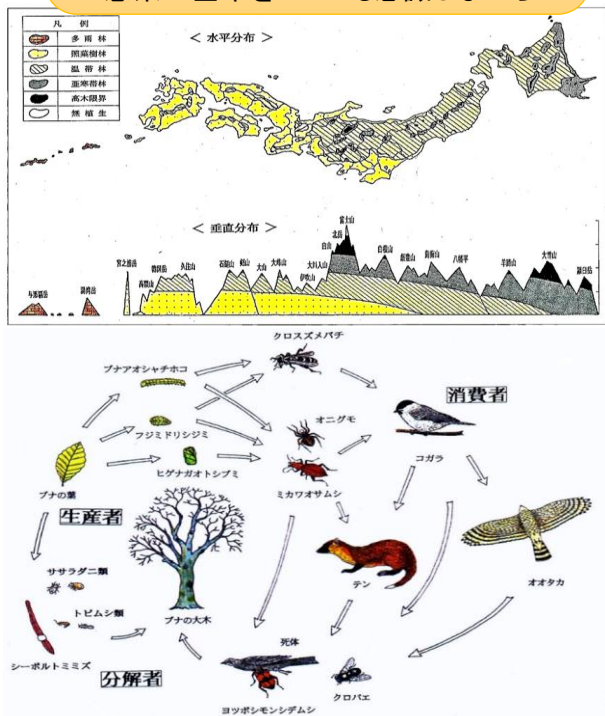
行政の仕組みでは、定められたことは実施されるべきものなのでしょう。また、行政の長である市長の判断には従うべきなのでしょう。

けれど、名古屋市民にとってはどうなのか？数十年、百年二百年先を見通したとき、どうなのか？

わたしたちは 制約のない 市民本位の立場から、自然と人との関わり方の理(ことわり)から、あらためて発想してみてもいいかと思うのです。

ブログ「相生山からのメッセージ」より

生態系の基本を いつも意識しながら



ことは「里山」について改めて学んでいきたいと考えています

